NTT

無線LAN対応携帯電話 設定ツールの使い方

第1章　まず準備！

第2章　設定しよう！

第3章　ひかり電話が使えることを確認しよう！

本マニュアルを印刷し、読みながら設定することをお勧めします。

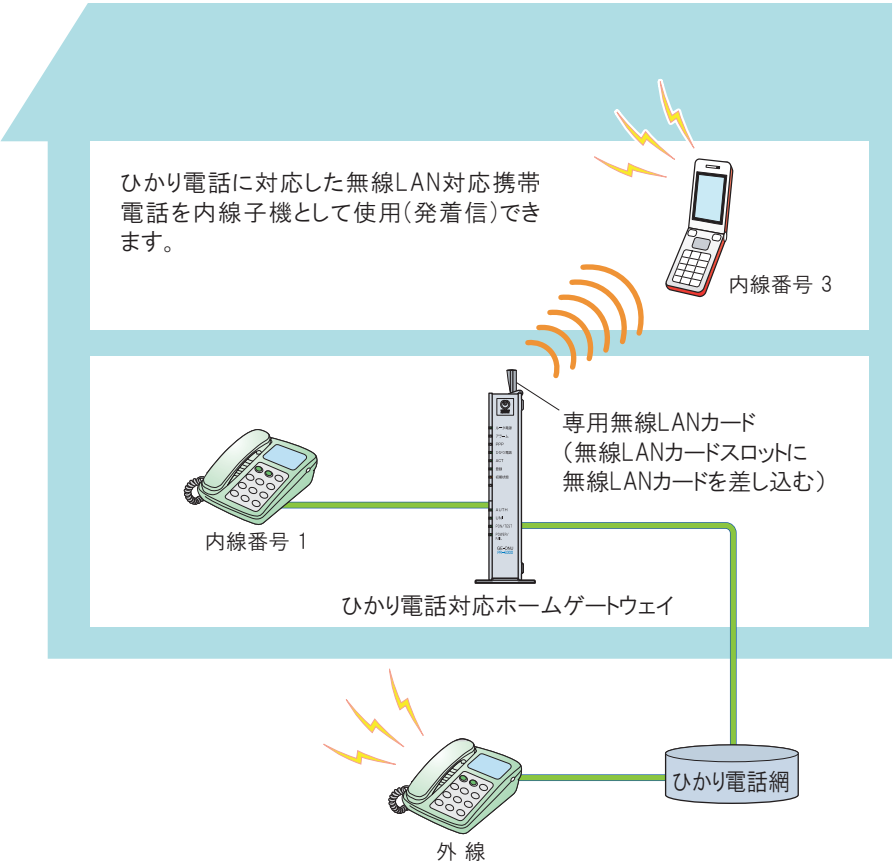
第1章

まず準備！

1. 無線LAN対応携帯電話
   設定ツールとは
2. 設定に必要なもの
3. 接続を確認しよう
4. ご利用にあたっての注意事項

1.無線LAN対応携帯電話設定ツールとは

無線LAN対応携帯電話をひかり電話対応ホームゲートウェイに接続し、ひかり電話の子機として利用できるように無線LAN設定と内線番号を設定します。



Memo

フレッツ簡単セットアップツールを使用して取得します。またはNTT西日本のサイトからダウンロードすることも可能です。取得方法についてはフレッツ簡単セットアップツールに付属の「フレッツ 光ネクスト超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

※本書に記載している製品名は各社の登録商標または商標です。

2.設定に必要なもの

本設定ツールで設定を行う際に、必要なものを確認します。

お客様にご用意いただくもの

●パソコン

・Windows Vista® (SP なし/SP1)、
Windows® XP SP2 以上
および Windows® 2000 SP4
・LAN ポート/USB ポートを装備

Memo

あらかじめ、パソコンに無線 LAN 対応携帯電話の FOMA 用通信設定ファイルをインストールしておきます。
インストール方法は無線 LAN 対応携帯電話のパソコン接続マニュアルなどをご参照ください。
FOMA 用通信設定ファイル等のインストールを CD-ROM を利用して行う場合は、ご利用のパソコンに CD-ROMドライブが必要です。

●専用無線 LAN カード SC-32(NE/SE/KI/HI) 1 枚

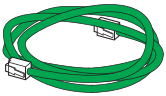
Memo

無線 LAN を利用するためにはひかり電話対応ホームゲートウェイ専用無線 LAN カードのお申し込みが必要です。

●ひかり電話に対応した
無線LAN対応携帯電話

●FOMA USB ケーブル(別売)
(無線 LAN 対応携帯電話接続用)

●LAN ケーブル

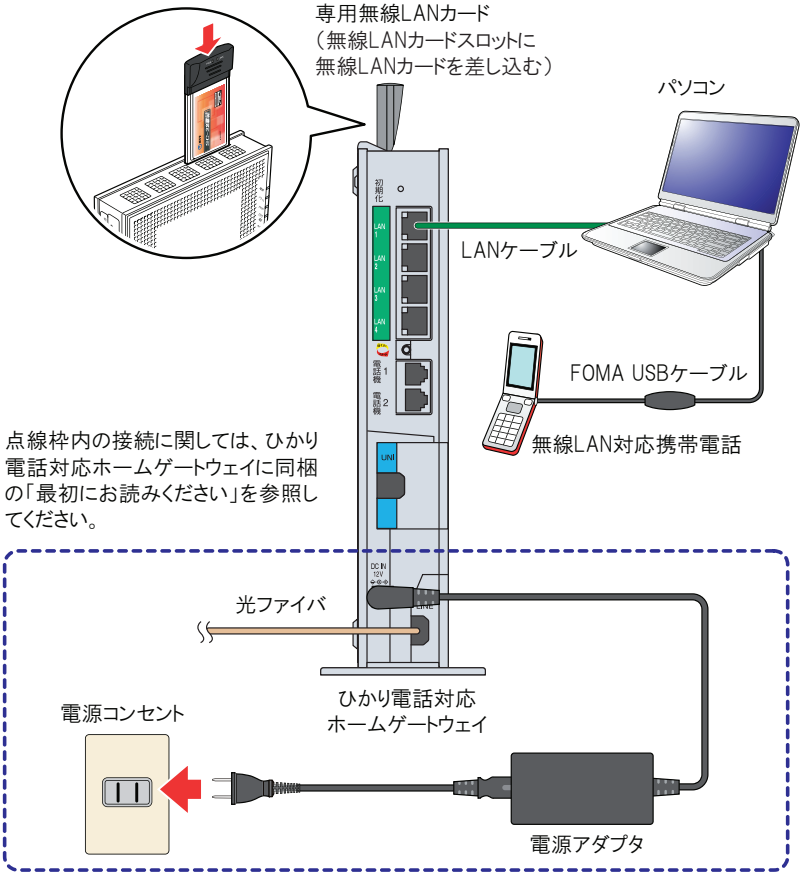


3.接続を確認しよう

この記載内容は１例です。機種ごとの詳細な接続方法はひかり電話対応ホームゲートウェイに同梱の取扱説明書などをご参照ください。

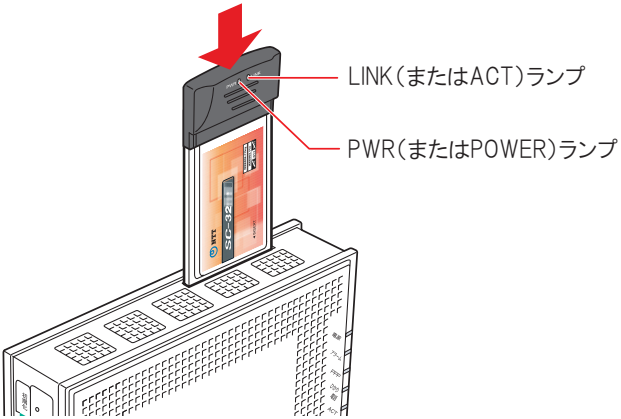
現在の接続状態です

次のように接続されていることを確認します。
機種ごとの接続方法は本設定ツールに同梱の接続図およびひかり電話対応ホームゲートウェイに同梱の「最初にお読みください」をご参照ください。



1 ひかり電話対応ホームゲートウェイ前面のアラームランプ（赤）、初期状態ランプ（橙）が同時に点灯していないことを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

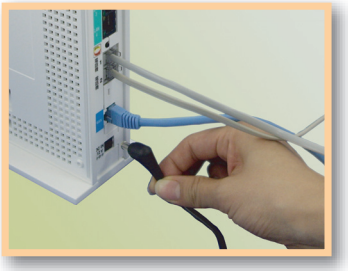
2 無線 LAN カードを無線 LAN カードスロットの奥まで確実に装着します。

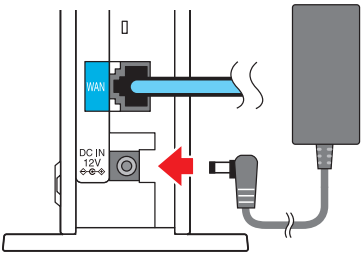


Memo

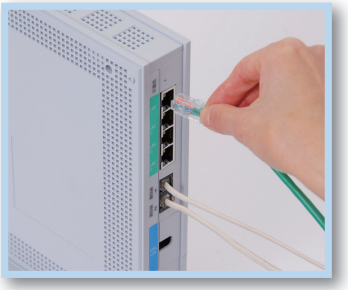
- 無線 LAN カードは図の通り、ひかり電話対応ホームゲートウェイのランプ側を右にして、LINK（または ACT）ランプ、PWR（または POWER）ランプが見える方向で正しく装着します。
- ひかり電話対応ホームゲートウェイの電源を入れたあとに PWR（または POWER）ランプが緑点滅すれば、無線 LAN カードは正常に差し込まれています。

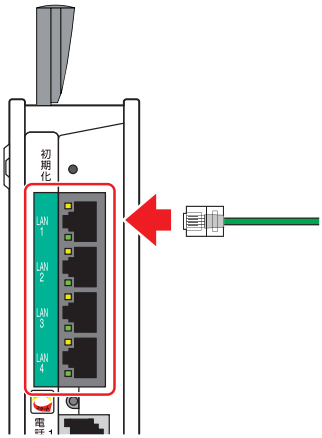
3 ひかり電話対応ホームゲートウェイに電源アダプタを差し込みます。



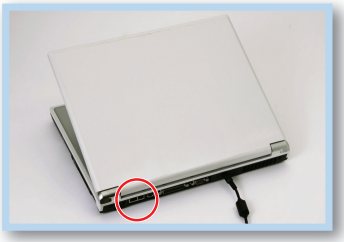


4 LAN ケーブルの一方を LAN ポートに差し込みます。



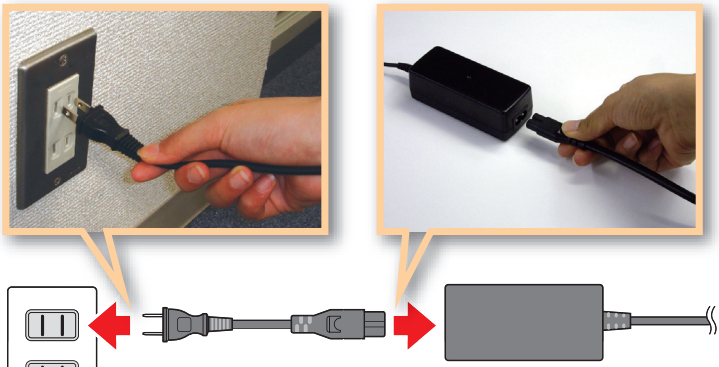


5 LAN ケーブルのもう一方をパソコンに差し込みます。



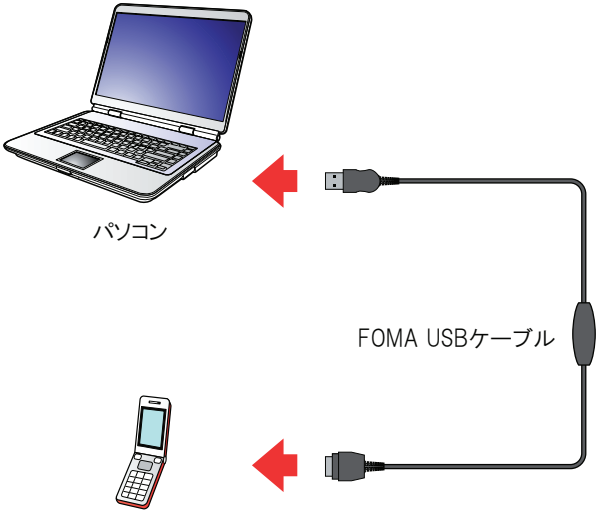
差込口の場所はパソコンによって異なります。

6 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



●電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

1 パソコンと無線LAN対応携帯電話をFOMA USBケーブルで接続します。



Memo

無線LAN対応携帯電話とパソコンを接続して設定を行うには「FOMA用通信設定ファイル」が必要です。
あらかじめ、パソコンに無線LAN対応携帯電話のFOMA用通信設定ファイルをインストールしておきます。
インストール方法は無線 LAN 対応携帯電話のパソコン接続マニュアルなどをご参照ください。

4.ご利用にあたっての注意事項

本設定ツールは無線LAN対応携帯電話に「無線LAN設定」と「内線番号設定」を設定します。

注意

あらかじめ「フレッツ　光ネクスト超カンタン設定ガイド」を参照し、フレッツ簡単セットアップツールでインターネット接続の設定と無線LAN設定を終了しておいてください。

本設定ツールでの無線LAN設定内容

無線LAN設定では下記の3項目を設定します。

- 無線ネットワーク名（SSID）
- 無線の暗号化
- 事前共有キー（PSK）

注意

データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

Memo

- ひかり電話対応ホームゲートウェイの無線LAN機能を使用する設定になっていない場合、本設定ツールでの設定が正常に完了しない場合があります。ひかり電話対応ホームゲートウェイの無線LAN設定の確認方法については、ひかり電話対応ホームゲートウェイの取扱説明書をご参照ください。
- 無線LAN対応携帯電話を利用できる無線動作モード、暗号化方式は次の通りです。

無線動作モード	IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換
暗号化方式	WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)

- フレッツ簡単セットアップツールでひかり電話対応ホームゲートウェイに無線LANの設定をすると、「無線の暗号化」は「WPA-PSK(TKIP)」に設定されます。

本設定ツールの動作環境

OS	・Windows Vista® (SP なし/SP1) ・Windows® XP SP2 以上 ・Windows® 2000 SP4

※本設定ツールを Windows Vista®および Windows® XP/2000 でインストールまたは使用する場合は、管理者権限を持つユーザー(Administrator など)でログオンしてください。

※本設定ツールをご利用する際には、お使いのパソコンの画面解像度を 1024×768 ピクセル以上に設定してください。画面解像度の設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

※アンインストール直後にデスクトップ上のショートカットアイコンが、消えない場合があります。その場合は、デスクトップ上で右クリックし、[最新の情報に更新] を選択してください。

Memo

無線LAN対応携帯電話とパソコンを接続して設定を行うには「FOMA 用通信設定ファイル」が必要です。
あらかじめ、パソコンに無線LAN対応携帯電話のFOMA 用通信設定ファイルをインストールしておきます。
インストール方法は無線 LAN 対応携帯電話のパソコン接続マニュアルなどをご参照ください。

ひかり電話対応ホームゲートウェイのファームウェアバージョン

最新のファームウェアに更新してご利用ください。更新方法は、ひかり電話対応ホームゲートウェイの取扱説明書を参照してください。

第2章

本設定ツールを利用して
設定しよう！

本設定ツールを利用して設定しよう！

本設定ツールはフレッツ簡単セットアップツールを用いてダウンロードします。
また、NTT 西日本のサイトからダウンロードすることも可能です。

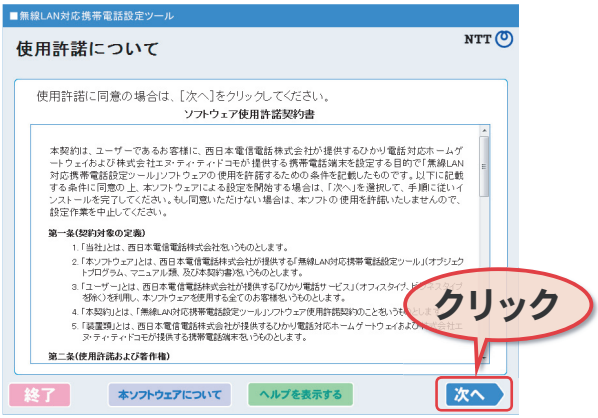
Memo

ダウンロード手順は「フレッツ　光ネクスト超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

・フレッツ簡単セットアップツールを用いてダウンロードした場合は、自動的に本設定ツールが起動します。
・NTT 西日本のサイトからダウンロードした場合は保存したファイルを実行して本設定ツールを起動してください。

1

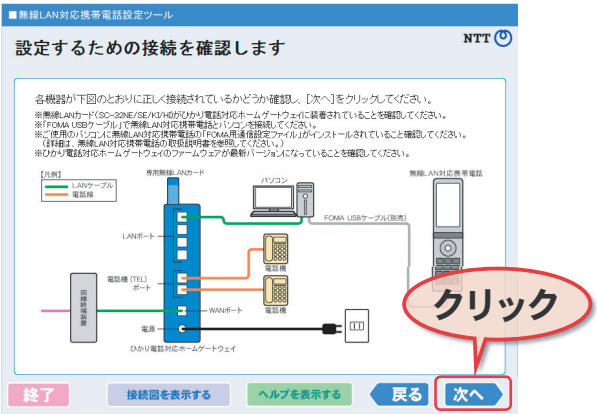
本設定ツールを起動すると、「使用許諾について」画面が表示されます。内容を確認して、使用許諾に同意される場合は[次へ]をクリックします。



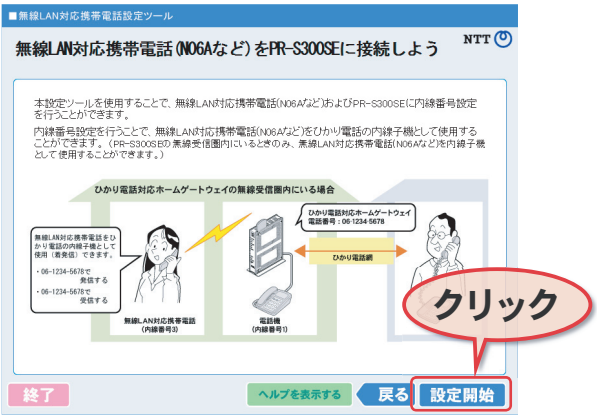
Memo

Windows Vista®を使用される場合は本設定ツールが起動する前にユーザーアカウント制御画面が表示される場合があります。その場合には[続行]をクリックしてください。

2 接続構成を確認して、[次へ]をクリックします。



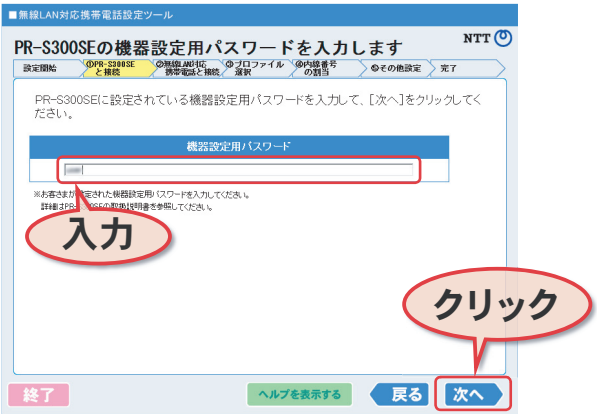
3 [設定開始]をクリックします。



※これは PR-S300SE と N-06A を接続した場合の画面記載です。
お使いのひかり電話対応ホームゲートウェイと無線 LAN 対応携帯電話により表示は自動的に変更されます。

4 設定メニューを確認し、[次へ]をクリックします。

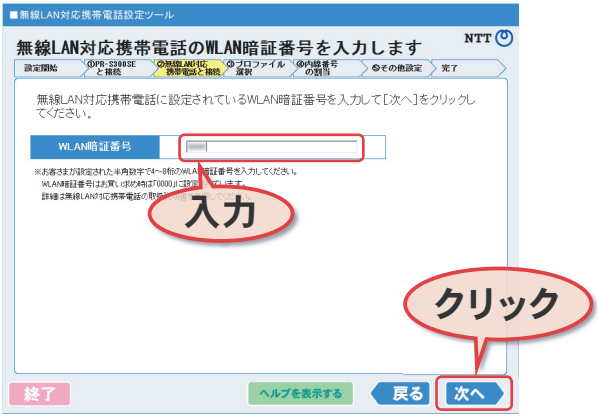
5 ひかり電話対応ホームゲートウェイの「機器設定用パスワード」を入力し、[次へ]をクリックします。



※ 通常は本画面は表示されず、自動的に次の画面に進みます。

6 無線 LAN 対応携帯電話の WLAN 暗証番号を入力し、[次へ]をクリックします。

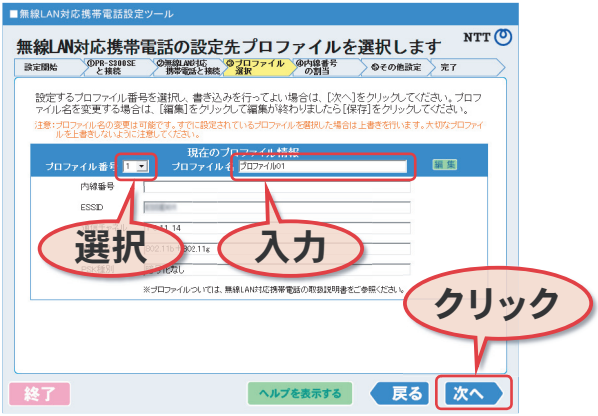
※「WLAN 暗証番号」は無線 LAN 対応携帯電話の無線 LAN 設定を参照したり、変更したりするときに必要な暗証番号です。
「WLAN 暗証番号」はお買い求め時は「0000」に設定されています。
詳しくは、無線 LAN 対応携帯電話のパソコン接続マニュアルをご参照ください。



WLAN 暗証番号メモ欄：

7

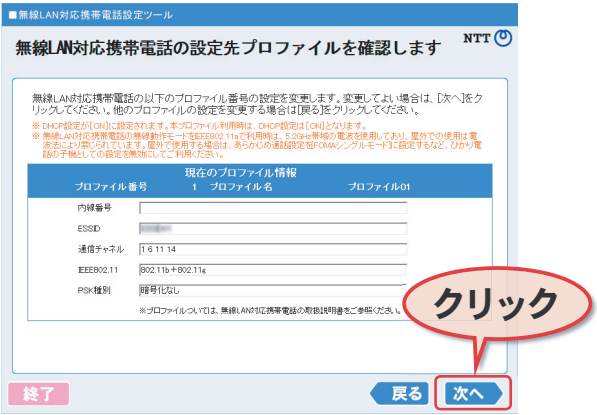
無線LAN対応携帯電話に設定するプロファイル番号を選択できます。
表示されているプロファイル番号、名前を用いて設定する場合は[次へ]をクリックします。
プロファイル番号を変更する場合はプルダウンボタンをクリックして番号を選択します。
プロファイル名を変更する場合は[編集]ボタンをクリックしてプロファイル名を編集後、[保存]ボタンをクリックします。
編集が終わった後に[次へ]をクリックします。



プロファイル名メモ欄：

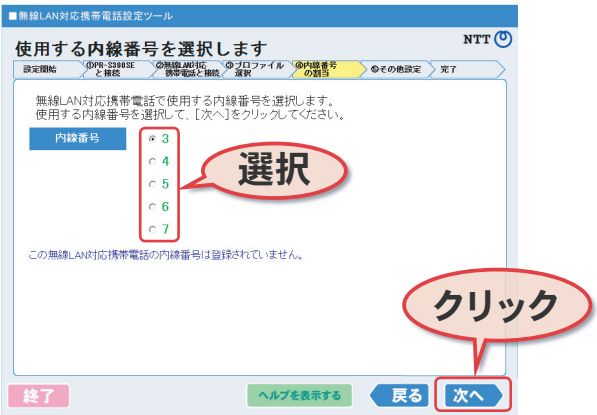
8

設定されるプロファイルの現在の設定情報を確認し、変更してよい場合は[次へ]をクリックします。



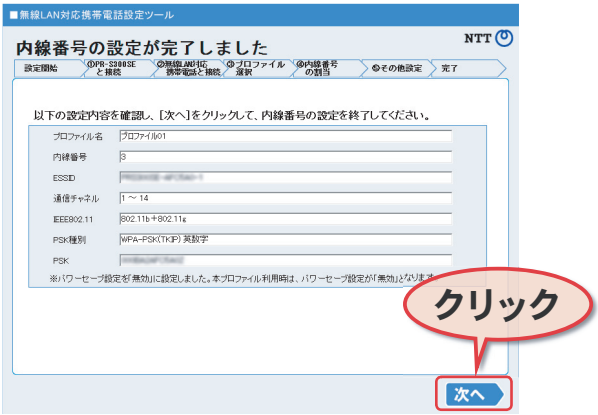
9

ひかり電話対応ホームゲートウェイで使用可能な内線番号が選択されています。
変更する場合は内線番号を選択して、[次へ]をクリックします。



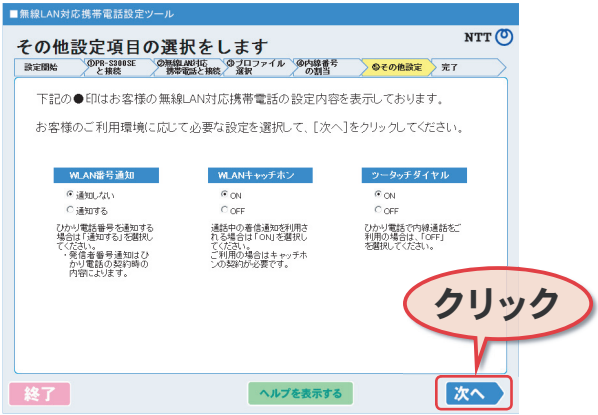
10

「内線番号の設定が完了しました」画面が表示されたら、無線 LAN 対応携帯電話をひかり電話で利用するための内線番号の設定は完了です。[次へ]をクリックします。



11

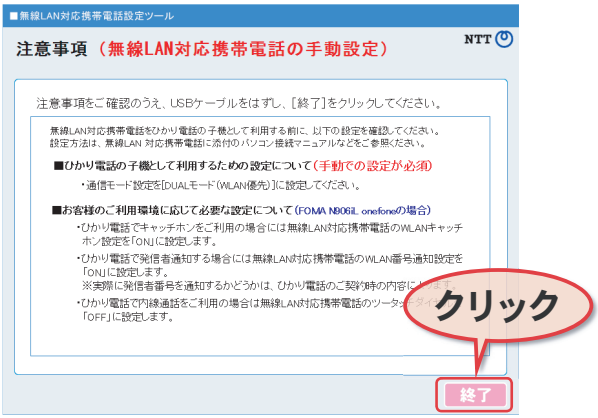
無線 LAN 対応携帯電話の現在の設定内容が表示されています。設定内容を変更する場合は必要な設定を選択して、[次へ]をクリックします。



Memo

FOMA N906iL onefone の場合は本画面は表示されません。

12 「注意事項」をご確認のうえ、FOMA USB ケーブルをはずし、［終了］をクリックして、本設定ツールを終了します。



13 無線LAN対応携帯電話をひかり電話の子機として利用する前に、以下の設定を確認してください。

設定方法は、無線LAN対応携帯電話に添付の取扱説明書をご参照ください。

■ひかり電話の子機として利用するための設定について**（手動での設定が必須）**

・無線LAN対応携帯電話の通信モードを「DUALモード（WLAN優先）」に設定します。

■お客様のご利用環境に応じて必要な設定について（FOMA N906iL onefoneの場合）

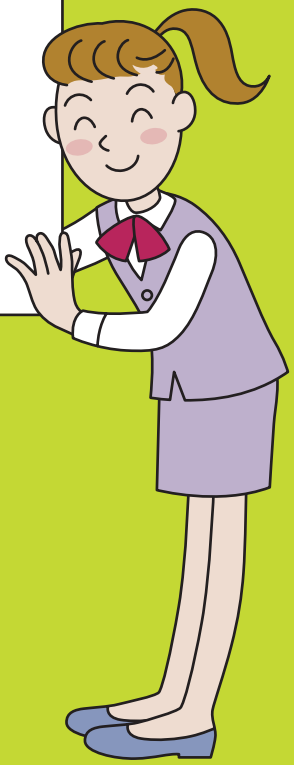
・ひかり電話でキャッチホンをご利用の場合にはFOMA N906iL onefoneのWLANキャッチホン設定を「ON」に設定します。
※キャッチホンをご利用の場合は、別途、キャッチホンのご契約が必要です。

・ひかり電話で発信者通知する場合にはFOMA N906iL onefoneのWLAN番号通知設定を「ON」に設定します。
※実際に発信者番号を通知するかどうかは、ひかり電話のご契約時の内容によります。

・ひかり電話で内線通話をご利用の場合はFOMA N906iL onefoneのツータッチダイヤルを「OFF」に設定します。

第3章

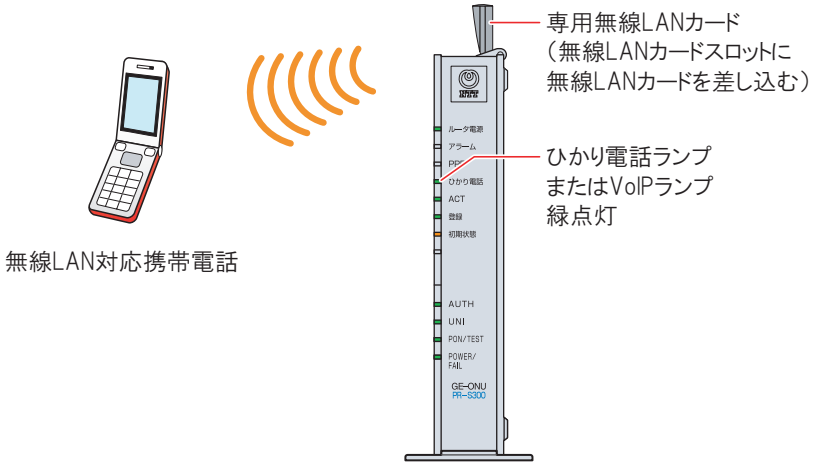
ひかり電話が使えることを確認しよう！



ひかり電話の使用方法

ひかり電話の使用方法

ひかり電話対応ホームゲートウェイのひかり電話ランプまたはVoIPランプが緑点灯していることを確認してから、無線LAN対応携帯電話からひかり電話として通話できることを確認します。



Memo

- 電源投入後、ひかり電話ランプまたはVoIPランプが緑点灯するまで数分かかる場合があります。
- ひかり電話ランプまたは VoIP ランプが緑点灯していないときはひかり電話対応ホームゲートウェイに同梱の「最初にお読みください」を参照して接続を確認し、ひかり電話対応ホームゲートウェイの電源を入れ直してください。
- ひかり電話が使用できる状態にあると、無線LAN対応携帯電話画面のアンテナの右側に「SIP」と表示されます。

以上で無線LAN対応携帯電話をひかり電話の子機として使えるようになりました。

外線番号へ発信する

外線番号へ発信する場合は、次の手順で操作します。

1. 相手の電話番号をダイヤルします。
2. 無線LAN対応携帯電話の開始ボタンを押します。

内線番号へ発信する

内線番号へ発信する場合は、次の手順で操作します。

1. 内線番号(1～2桁)をダイヤルします。
2. 無線LAN対応携帯電話の開始ボタンを押します。

© 2009 NTTWEST
（2009.10）
ﾑｾﾝLANﾀｲｵｳｹｲﾀｲﾃﾞﾝﾜｾｯﾃｲﾂｰﾙﾉﾂｶｲｶﾀ